

ホタルプロジェクト

ーホタルとおったらぶちおもしろいっチャーー

	代表者	池田智史（理学B 2年）	
構成員	寺本明広（農学M 2年）	志岐和美（農学M 1年）	前田篤司（農学B 4年）
	納富昭吾（農学B 4年）	水野諭（工学B 4年）	
	上坂千夏（人文B 4年）	祝出真希（理学B 4年）	
	石田敬大（理学B 3年）	金谷洋介（農学B 3年）	
	田中宏美（農学B 3年）	岡部一馬（農学B 3年）	
	岡崎大（農学B 3年）	野村美樹（人文B 3年）	
	上田和季（理学B 2年）	西山祐斗（理学B 2年）	
	高倉武（農学B 2年）	松本昇磨（工学B 2年）	
	国貞寛規（工学B 2年）	山本竣也（工学B 2年）	
	甲斐宗一郎（理学B 2年）	今村優（農学B 2年）	
	古川翔子（農学B 2年）	楠原崇太郎（経済B 2年）	
	松村賢孝（経済B 1年）	増田陽介（農学B 1年）	
	平林千春（工学B 1年）	藤田早紀（人文B 1年）	
	吉田季未（農学B 1年）	萩野詩季（共獣B 1年）	
	西澤陵弥（農学B 1年）	赤峯未紀（医学B 1年）	
	渡辺智亮（工学B 1年）	阿部真希子（工学B 1年）	
	中村恵海香（工学B 1年）	生月千晶（工学B 1年）	
	鈴木雅人（経済B 1年）	中村友哉（工学B 1年）	
	楯本宜秀（理学B 1年）	辻竜海（工学B 1年）	
	小野佑太（工学B 1年）	竹野晃司（経済B 1年）	
	山崎悠暉（農学B 1年）	中原翔（農学B 1年）	
	藤原夏帆（人文B 1年）	山下裕加（人文B 1年）	
	南野佳菜子（農学B 1年）	吉塚駿介（経済B 1年）	
	林由希子（農学B 1年）	古沢陽法（医学B 1年）	
	大前祥紀（農学B 1年）	江鵬里（工学B 1年）	
	森口優吾（工学B 1年）	吉村政子（農学B 1年）	

1. プロジェクトの目的

吉田キャンパスには農学部付属農場、ビオトープに多くのホタルが生息しており、ホタルにはそれらのホタルを増やして行く事を目的としている。また、他の生物にとっても住みやすい環境を学内に作ることによって「環境」というものを考えるきっかけなることを期待している。

2. プロジェクトの内容

学内のホタルの保護、飼育。ビオトープの整備を行っている。また、ほうほう川、九田川での清掃活動など構外での活動も進めている。

3. 現在までの活動状況

- ・ホタルの発光個体数計測
- ・ホタルツアー
- ・ホタル飼育

主に以上の3つを行った。

- ・ホタルの発光個体数計測

5月20日から7月の14日まで毎晩20時、21時にビオトープ、農学部附属農場の発光しているホタルの数を計測した。発光個体数が増加している場所があったが総数は減少しており、特にビオトープは例年と比べて非常に少なかった。これはビオトープの草刈りの時期とホタルの幼虫が陸に上がってくる時期が重なり、周りが明るかったのも相まって、ホタルが成虫になりにくい状況を作り出してしまったのではないかと思われる。

- ・ホタルツアー

計測と並行してホタルが最も多く見られる時期にホタルツアーという形で学内の方にも呼びかけてホタルを鑑賞した。今年は6月5日から7日にかけて行った。

- ・ホタル飼育

6月初旬にホタルを捕獲し、湿らせたガーゼと共に飼育ケースに入れ産卵させた。(ガーゼは産卵場所になる)6月8日には最初のホタルの卵を得た。また7月1日には卵が発光しているのを確認できた。これは山口大学内でも初めてのことである。7月5日に卵が孵化し幼虫が確認された。その後次々と孵化したので幼虫の数を数え、200匹ごとに一つの飼育ケースで飼育することにした。現在幼虫が200匹いる飼育ケースが9つ、計1800匹のホタルを飼育している。

以上のものとは別に飼育しているものもある。今年が発光個体数計測で場所によってその数に差があった。大きいところで20匹ほどの差がある。この差の原因を考えるため、まず各計測地点の土壌を採取し、それを使いホタルを飼育することにした。

ホタルの餌となるのはカワニナという貝である。ホタルを飼育するには不可欠のものであるが現在全てのカワニナはビオトープから採取してきている。しかし、ビオトープだけから採取するとカワニナが減ってしまう危険性がある。そこでカワニナの養殖を行うことにした。8月10日にビオトープにて成長した大きなカワニナを10匹採取し、2、3個の石と共に飼育ケースに入れた。餌は市販のウーパールーパーの餌とビオトープに生えていた草を与えた。飼育して5日ほどで稚貝が10匹確認でき、現在は100匹を越えている。稚貝の成長スピードが予想以上に遅かったため今のホタルの餌としては小さく、使用には適さない。来年のホタルの繁殖と並行して行えば小さいホタルの1令幼虫に最適なサイズのカワニナを与えることができるはずである。

また、栗野川での生き物観察会やほうほう川、九田川での清掃など地域との交流も行っている。

4. 今後の予定

- ・飼育室開放

飼育室を開放し、一般の学生や職員の方に幼虫を観察できるようにする。

- ・ホタルの幼虫の放流

現在飼育しているホタルの幼虫を放流する。11月初旬を予定している。

- ・ビオトープの管理

今後も草刈りなどを続けていく。

- ・地域との交流

現在きらら浜ミニジャンボリーに参加予定であり、準備を進めている。

- ・姫山祭での環境展

11月3日開催される姫山祭で環境展を行う。